

# 第1回ジオパーク下仁田協議会学術部会 報告

日時 平成30年 4月27日(金) 午後3時00分

場所 県立下仁田高校

所 属	氏名	出・欠	所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	出	中小坂鉄山研究会	原田 喬	欠
下仁田自然学校	真野 勝友	出		渡辺 悟	欠
群馬県立自然史博物館	菅原 久誠	出	群馬大学名誉教授	吉川 和男	出
群馬県立自然史博物館			下仁田町自然史館	岩井 実	出
下仁田町歴史館	神戸 領栄	出	下仁田町自然史館	関谷 友彦	出
下仁田町自然史館	中村 由克	出	地域おこし協力隊	片山 美雪	出
日本ジオパーク下仁田応援団	里見 哲夫	出			

## 1 開 会

## 2 協議事項

### (1) 学術奨励金審査

平成30年度の下仁田ジオパーク学術奨励金の申請が4件あり、それぞれについて審査を行い、次のように案をまとめた。

<牧場に生息するアナグマの生態～巣穴の分布と利用に注目して>

下仁田で弱い動物の研究で、研究成果も期待できるので申請額の20万円で交付

<関東山地に分布する御荷鉾帯緑色岩のジルコンU-Pb年代と地球化学的特徴>

最新の分析機器を使ったデータが出る意味は大きい、また学生の研究を応援するということからも採用とする。申請された書籍や調査道具はこの研究に限って必要なものではないので奨励金の対象外として10万円を交付する

<下仁田地域の鉱物学的研究>

鉱物に関するデータは古いものしかないので新しいデータが出るということは重要 細かく調べるとなると年間で8か所は難しいのでサイトを減らしてもらい10万円を交付する

<下仁田とその周辺に伝わる昔話の地球科学・地形学的解釈>

研究計画の記載内容からどのような成果が期待できるかが分からず不十分ということで不採用

## (2) 平成 30 年度の活動

資料のような「テーマ・ストーリー検討委員会」を作り、ジオパークの基本である地質学的なストーリーを固め、それをたたき台に歴史や自然の要素を付け足していくことでストーリーを作っていく

## (3) みやま文庫下仁田ジオパーク

高桑さんが作った内容案をもとに話し合いをした。今出ている項目を読む人が分かりやすいように整理をして執筆者の割り振りをしていく。